



毎年掛け声指導をしている福男さん。

山コチンチコ



思い出の山が勢ぞろい



歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド²⁷

市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「扇田地区」

H19.8.3・5取材



「山コチンチコ ヨーイヨイ、ヘビッコ カラマッタ ヨーイヨイ、オラホノ ヤマッコ ミテタンヘ」という独特の掛け声と共に、絵灯ろうを引いて町内を巡る行事「山コチンチコ」。比内地域扇田地区で、古くから伝わる「七夕」の行事です。昭和48年に復活し、再開してから今年で35回目を迎えたそうです。今回は、この「山コチンチコ」をご紹介します。

毎年、山コチンチコで、参加する小学生に掛け声を指導しているのが山田福男さん(下川端)。行事の名前の由来は？ と不思議がる私を裏の畑へ連れて行ってくれました。そして、指差す物を見ると、そこには赤褐色？ ルビー色？ の小さな実がたくさんなっているスグリ(ツラスグリ、フサスグリ)がありました。「昔は、これをチンチコスグリって言ってたもんだ。チンチコって言うのは、物が連なっている様子を指す言葉。だから、山コチンチコというのは、山(絵灯ろう)が、連なっている様子を言うてるんだよ」。そうでしたか。言葉の意味が分からなかったので、危うく良からぬモノを連想してしまうところでした。

「もし、昔にミニトマトがあったら、チンチコトマトって言うていたかもしれない」。確かに、指されたミニトマトも、ツラスグリの実のように連なっています。チンチコの意味、皆さん分かりましたか？

そして、この独特の掛け声の意味を福男さんからのお話から解釈すると、「山が連なつてやって来ます。水の神様である竜神様、どうか一緒に来て、私たちが作った山を、皆さん見てください」という意味になるのだとか。ちなみに、今年はカラ梅雨で、農作物への影響も心配されましたが、山コチンチコが終わってからの6日から10日まで一週間は、梅雨明けしたというのに、雨が連日降りました。きっと竜神様が、私たちの願いを聞いてくれたに決まっています！

「山コチンチコ ヨーイヨイ、ヘビッコ カラマッタ ヨーイヨイ、オラホノ ヤマッコ ミテタンヘ」